

製品安全データシート

整理番号: jcam-6036

改定日: 2024年3月11日

1 製品及び会社情報

製品名	; くみあい40被覆尿素JコートSD、くみあい40被覆尿素JコートSE、くみあい40被覆尿素JコートSF、くみあい40被覆尿素JコートSDD、くみあい40被覆尿素JコートSEE、くみあい41被覆尿素JコートQuick、くみあい41被覆尿素JコートL20、くみあい41被覆尿素JコートL30、くみあい41被覆尿素JコートL40、くみあい41被覆尿素JコートL50、くみあい41被覆尿素JコートL70、くみあい41被覆尿素JコートL100、くみあい41被覆尿素JコートL140
別名	; JコートSD、JコートSE、JコートSF、JコートSDD、JコートSEE、JコートQuick、JコートL20、JコートL30、JコートL40、JコートL50、JコートL70、JコートL100、JコートL140
会社名	; 全国農業協同組合連合会
担当部署	; 耕種資材部
住所	; 〒100-6832 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル33F
電話番号	; 03-6271-8285
FAX番号	; 03-5218-2536
e-mail	; zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先	; 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限; 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

2 危険有害性の要約

製品のGHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体	: 区分に該当しない
	自然発火性固体	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	酸化性固体	: 区分に該当しない
	金属腐食性物質	: 区分に該当しない
	急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
	急性毒性(吸入)	: 分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激	: 分類できない

製品安全データシート

性			
呼吸器感作性			: 区分に該当しない
皮膚感作性			: 区分に該当しない
生殖細胞変異原性			: 区分に該当しない
発がん性			: 区分に該当しない
生殖毒性			: 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）			: 分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）			: 分類できない
誤えん有害性			: 分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性	短期（急性）	: 分類できない
	水生環境有害性	長期（慢性）	: 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

注意書き

- 【安全対策】 熱から遠ざけること。
保護眼鏡、保護手袋を着用すること。
取り扱い後は手をよく洗うこと。
粉じんを吸入しないこと。
換気の良い場所で使用すること。
- 【救急処置】 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断を受けること。
眼に入った場合には、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けること。
- 【保管】 容器を密閉して保管すること。
可燃物から離して保管すること。
- 【廃棄】 製品又は容器を廃棄する場合は、国及び地方自治体の規則に従うこと。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 被覆窒素肥料

主成分	含有量 ^{※1)} (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
尿素	8.5～9.5	CO(NH ₂) ₂	2-1732	57-13-6
樹脂組成物 ^{※2)}	5～15	—	—	—
ホワイトカーボン	1.0以下	SiO ₂	—	112926-00-8

製品安全データシート

整理番号：jcam-6036

改定日：2024年3月11日

※1) 含有量は代表的な分析値であり、若干の幅で変動する。

※2) ポリエチレン、ポリエチレン系樹脂、その他

労働安全衛生法に基づく、名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
該当なし

化学物質排出把握管理促進法に基づく対象物質
該当なし

4 応急措置

- | | | |
|-----------|---|---|
| 吸入した場合 | : | 分解ガスや粉塵の場合は、新鮮な空気のある場所に移し安静にさせ、必要に応じて医師の診断を受ける。 |
| 皮膚に付着した場合 | : | 水で洗い流す。 |
| 眼に入った場合 | : | 1. 直ちに多量の清水で洗眼する。
2. 必要に応じて医師の診断を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : | 意識があるときには、飲んだものを吐き出させ、必要に応じて医師の診断を受ける。 |

5 火災時の措置

- | | | |
|-------------|---|--|
| 適切な消火剤 | : | 多量の水 |
| 使ってはならない消火剤 | : | 情報なし |
| 火災時の危険有害性 | : | 加熱されると有害ガス（窒素酸化物、アンモニアガス等）を発生する。 |
| 特定の消火方法 | : | 本製品は不燃性であるが、可燃性物質の燃焼を助勢することがあるので、保管場所を移動する。
移動が困難な時は、多量の水を注水する。 |
| 消火を行う者の保護 | : | 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
状況に応じて呼吸保護具を着用する。 |

6 漏出時の措置

- | | | |
|-----------------------|---|---|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | : | 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護マスク等を着用し、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。可燃性物質に着火した場合に備えて、消火機材を準備する。 |
| 環境に対する注意事項 | : | 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
排水溝へ流さない。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : | 掃き集めて回収する。 |

7 取扱い及び保管上の注意

- | | | |
|-------|---|-----------------------------|
| 取扱い | : | |
| 技術的対策 | : | 発散した粉じんを吸いこまないように、必要に応じて適切な |
| 接触回避 | : | 保護具を着用し、取扱い後は顔、手、口等を水洗いする。 |

製品安全データシート

整理番号：jcam-6036

改定日：2024年3月11日

- 安全取扱注意事項 : 強アルカリ性資材、燃料その他の可燃性物質との直接混合は避ける。
: 1. 床にこぼれた粒で足元が滑り、転倒する事があるので、掃除する。
2. 容器は破損につながらないように丁寧に扱う。
- 保管
- 安全な保管条件 : 1. 開封のまま長期間放置すると、吸湿して固結の原因となるので、開封後は密封して保管する。
2. 直射日光を避け、高温・多湿下での保管は避ける。
3. 可燃性物質との近接は避ける。
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン

8 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 発塵を起こさぬ装置機械を使うか、局所排気装置を使用する。
管理濃度 : 設定なし。
許容濃度 : 日本産業衛生学会、ACGIH 共に、本品の設定はないが、粉塵対応として、下記の値を推奨する。

日本産業衛生学会勧告値（2020年）第3種粉塵

吸入性粉塵	2 mg/m ³
総粉塵	8 mg/m ³

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防塵マスク
手の保護具 : ゴム手袋
目の保護具 : ゴーグル型眼鏡
皮膚・身体の保護具 : 長袖作業衣

9 物理的及び化学的性質

- 物理的状態 : 固体
色 : 白色
臭い : データなし
沸点又は初留点及び騰範囲 : データなし
可燃性 : データなし
pH : データなし
溶解度
溶解性（水） : データなし
（その他の溶媒） : エタノールに可溶
蒸気圧 : データなし
密度 : データなし
粒子特性 : 粒径範囲 1~4mm
その他のデータ
かさ比重 : 約 1.0

10 安定性及び反応性

- 化学的安定性 : 加熱すると有害ガスを発生する。
反応性 : 可燃性物質の燃焼を助勢する。

製品安全データシート

危険有害反応可能性	： データなし
避けるべき条件	： 高温、多湿
混触危険物質	： 可燃性物質、アルカリ性物質
危険有害な分解生成物	： 窒素酸化物、アンモニアガス等

1.1 有害性情報

急性毒性（経口）	： 区分に該当しない ただし、構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> ラット LD ₅₀ ♂14,300mg/kg ♀15,000mg/kg マウス LD ₅₀ ♂11,500mg/kg ♀13,000mg/kg 以上のデータに基づき、区分に該当しないとしました。
急性毒性（経皮）	： 区分に該当しない ただし、構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> ラット LD ₅₀ 8,200mg/kg 以上のデータに基づき、区分に該当しないとしました。
急性毒性（吸入）	： 分類できない データなし
皮膚腐食性/刺激性	： 分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> ヒトの試験では7.5%で Slight irritation、30%で moderate との報告がある(48時間)。 ICSC では皮膚に対し発赤と記載されている。 ウサギの試験では刺激性は認められていない。 上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019の表 B.4 の判定基準（皮膚刺激性の区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	： 分類できない 構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。 <尿素> ICSC では眼に対し発赤と記載されている。 ウサギの試験では刺激性は認められていない。 上記の有害性情報があるが、JISZ7252:2019の表 B.8 の判定基準（可逆的な眼への影響に関する区分）を満たす証拠がなかったため、分類できないとした。
呼吸器感作性	： 分類できない データなし
皮膚感作性	： 区分に該当しない ただし、構成成分である下記物質については、

製品安全データシート

整理番号: jcam-6036
改定日: 2024年3月11日

次のような有害性情報がある。
<尿素> 感作性なし
以上のデータに基づき、区分に該当しないとした。
生殖細胞変異原性 : 区分に該当しない
ただし、構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。

<尿素>
エームス試験 陰性
染色体異常試験 代謝活性化なしの場合に陰性との報告がある。
以上のデータに基づき、区分に該当しないとした。

発がん性 : 区分に該当しない
ただし、構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。
<尿素>
マウス(0.45-4.5g/kg, 12ヶ月)およびラット(4.5-45g/kg, 12ヶ月)の試験では発がん性は認められていない。
以上のデータに基づき、区分に該当しないとした。

生殖毒性 : 分類できない データなし

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 分類できない データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 分類できない データなし

誤えん有害性 : 分類できない データなし

1.2 環境影響情報

生態毒性:

水生環境有害性 短期(急性) : 区分に該当しない
構成成分である下記物質については、次のような有害性情報がある。

<尿素>

魚毒性 : 96時間 LC₅₀ >9,100mg/L
(Barilius barna)

藻類毒性 : 192時間許容限界 >10,000mg/L
(緑藻, Scenedesmus quadricauda)

甲殻類 : 24時間 EC₅₀ >10,000mg/L
(Daphnia magna)

水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない

残留性・分解性 : 易分解性

製品安全データシート

生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: 施肥にあたっては、包材裏面の「施肥量」を参照し、詳しくは最寄りのJAにお問い合わせ下さい。
オゾン層への有害性	: データなし

[ポリエチレン（合成高分子）]

海洋環境有害性 : HME に該当する

閉鎖性水域では水質の富栄養化をもたらすので、排水については「水質汚濁防止法」の排水基準を守ること。

1.3 廃棄上の注意

- 下水、河川等に直接流さない。
- 「廃掃法」にしたがって処理する。
- 燃やさない（不燃物であるが加熱すると有害ガスを発生する）。

1.4 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: 該当なし
品名	: 該当なし
国連分類	: 該当なし
容器等級	: 該当なし
IMDG（国際海上危険物規則）	: 該当なし
ICAO-TI（国際民間航空機関技術指針） ／IATA-DGR（国際航空運送協会危険物規則）	: 該当なし
国内規制	: 下記の法令に従い、規定の積載方法、容器等によって輸送する。 船舶安全法、航空法、湾則法
輸送の特定の安全対策及び条件	: 1. 雨水等による水濡れ防止を行う。 2. 破袋、荷崩れ等を起こさぬよう適切な対策をとる。

1.5 適用法令

肥料の品質の確保等に関する法律	: 登録肥料
消防法	: 該当しない
労働安全衛生法 粉じん則	: 粉じんが発生する屋内作業場は粉じん則が適用される。 粉じんを多量に吸入した場合、肺障害等の健康障害のおそれがあるため、作業環境測定を行うとともに、その結果に基づいたリスクアセスメントを行うこと。
船舶安全法	: 該当しない

航空法 : 該当しない
湾則法 : 該当しない
化学物質排出把握管理促進法 : 該当しない

16 その他の情報

- 1)本安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 2)本文中の注意事項は通常の取扱いを想定しておりますので、製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。
- 3)当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。
- 4)本 SDS の危険有害性は、以下の情報・基準を元に作成いたしました。
 - ・厚生労働省「職場のあんぜんサイト」の GHS 対応モデル SDS
 - ・当社原料メーカーから入手した原料 SDS
 - ・JISZ7252:2019「GHS に基づく化学品の分類方法」
 - ・「危険物船舶運送及び貯蔵規則」

本製品については、下記にお問い合わせください。

会社名 ; ジェイカムアグリ株式会社
連絡先 ; 生産管理本部
住所 ; 東京都千代田区神田須田町 2-6-6 ニッセイ神田須田町ビル
電話番号 ; 03-5297-8904
FAX 番号 ; 03-5297-8908
緊急連絡先 ; 水俣工場
電話番号 ; 0966-63-2235